



報 告

いばらきガーデン&オーチャードツーリズムについて

～ 新型コロナウイルス禍の中で認識された新たな価値 ～

茨城県土木部都市局都市整備課 主任 米川 洋 司

■はじめに

四季折々の多様な自然に恵まれた日本には、各地の特徴を映した日本庭園や洋風庭園、植物園や都市公園が多数存在しています。

「ガーデンツーリズム」は、複数の庭園がテーマのもとに連携することで、より個性を際立たせ、それぞれの良さを発揮できるように磨き上げを図り、魅力的な体験や交流を創出するものです。

ガーデンツーリズム登録制度は各地のガーデンツーリズム計画を積極的に支援するため、国土交通省が創設し、2020年10月までに10計画が登録されています。

魅力あるガーデンが多数ある国として、世界に認知され多くの方にお越し頂くことを目指しており、茨城県も令和元年10月に「いばらきガーデン&オーチャードツーリズム」として登録されました。



日本三名園の一つ偕楽園

■いばらきガーデン&オーチャードツーリズムとは

茨城は、東京から比較的近い距離にありながら、海や山、河川・湖など豊かな自然環境に囲まれており、緩やかに大きく広がる平野を活かして造られた庭園が数多くあります。このような庭園が、大都市近郊で見られるのは本県の大きな魅力です。

そして、メロンや梨、栗などの全国トップクラスの生産量を誇り、種類も豊富な果物が実る果樹園の風景も茨城らしさを象徴するものであり、本ツーリズムでは、鳥のさえずりを聞きながら花々から香る季節の匂いを楽しめる庭園（ガーデン）と、旬の果物を自分の手でもぎ取

り味わえる果樹園（オーチャード）を巡る、茨城ならではの五感で体感する旅を提案しております。



コキアの紅葉の時期には、柿が楽しめる

■構成庭園

本ツーリズムは9つの庭園で構成されています。まず、歴史が息づく庭園として、兼六園・後楽園に並ぶ日本三名園の一つ「偕楽園公園」、江戸時代の総合大学・水戸藩の藩校がある「弘道館公園」があり、毎年2月から3月に開催される「水戸の梅まつり」では多くの人で賑わいます。

次に、自然と調和した景観が特徴的な庭園として、ツツジが見頃には丘を真っ赤に染める「笠間つつじ公園」、世界の絶景に選ばれたネモフィラが有名な「国営ひたち海浜公園」、自然風景を取り入れた本格的な英国風景式庭園「七ツ洞公園」、ラムサール条約登録湿地「涸沼」のほとり「涸沼自然公園」と個性的な庭園が並び、それぞれの花の見頃には訪れる人を魅了します。

さらに、四季の花が楽しめ、花卉園芸の振興に資する庭園として、園内には約600種5万本の植物がある「茨城県植物園」、五感で感じる花のテーマパーク「いばらきフラワーパーク」、水戸市が誇る洋風庭園でハーブ園も魅力の「水戸市植物公園」があり、年間を通して多種多様な四季の花が楽しめます。

■取組内容

①情報発信

本ツーリズムが本格稼働した令和2年度は、コロナ禍でのスタートでした。

4月早々に全都道府県に緊急事態宣言が発出され、見頃を迎えていた国営ひたち海浜公園のネモフィラや笠間つつじ公園のツツジをはじめ、全庭園が休園を余儀なくされました。



美しい花々を楽しんでいただく機会が失われた、そのような中であっても、「せっかくの見頃を迎えた花々の様子を皆様にお伝えしたい。何かできることはないのか。」との思いに駆られ考えついたのが、SNSによる情報発信です。緊急事態宣言により、自宅で過ごす時間が増え、気軽に外出できなくなった人達のために、見頃の花々を発信しました。いつもなら人が溢れかえっているネモフィラが咲くみはらしの丘に、誰一人いない、普段と違う顔を見せる庭園を写真などで紹介することができました。

また、新たな庭園の魅力を発掘し、発信するため、アンバサダーを委嘱しました。女性2人で結成されたiiberal(イイベラル)という団体で、県内で地域発信イベントの企画運営や、企業機関誌への寄稿、WEBサイトや販促グッズのデザイン制作等を手掛けています。iiberalの女性ならではの切り口による情報発信で少しずつ、本ツーリズムの知名度を上げていくことができました。

秋のパンフレットも発行しました。秋は国営ひたち海浜公園のコキアをはじめ、秋バラやサルビアなどの花々が咲き誇り、栗や柿などの果樹が実る時期であります。今までは、おのおのPRをしていましたが、それらを1つにまとめ、一体となってPRすることにより、庭園を散策した後、果樹園で果物を味わうなど、複数の楽しみ方を提案することができました。



おすすめのモデルコースも掲載されているパンフレット

②イベント

秋が近づくにつれ、新型コロナウイルスの影響も落ち着きが見られてきた10月には、国営ひたち海浜公園で本ツーリズムのPRイベントを開催しました。コキアの紅葉時期に多くの方が訪れる海浜公園において、石岡市の旬のりんごと柿、笠間市の栗をアンケートに協力してくれた人等にプレゼントをし、ツーリズム促進のPRを行いました。庭園と果樹園が連携し、季節の花々と旬の果物が楽しめる本ツーリズムのスタイルを発信する一つとなったのではないかと思います。



国営ひたち海浜公園でのPRイベント

③バスツアー

江戸時代の薬草文化と果物狩りを組み合わせた、いばらきガーデン&オーチャードツーリズムのオリジナルバスツアーも催行いたしました。水戸は薬草と深い関わりがあり、水戸藩第2代藩主・徳川光圀は、薬草などを用いた日本最古の家庭療法の本を出版し、第9代藩主・徳川斉昭は、弘道館に薬の生産を目的とした薬草園を設けました。そして、本ツーリズムの構成庭園である水戸市植物公園では、このような水戸藩にゆかりのある薬草を中心に栽培し、薬膳料理も提供しています。

まず午前中は、弘道館と水戸市植物公園で、水戸藩ゆかりの薬草文化を学び、ランチには薬膳料理を楽しんでいただきました。午後は石岡市八郷地区に移動し、献上品として有名な富有柿を味わえる柿狩りを堪能していただき、1時間の滞在時間では足りなくなるほど、参加者は夢中になって楽しんでいました。

ツアー終了後のアンケートでは、「また参加したい」、「他の人にも教えてあげたい。」などといった声が多く、満足度の高いツアーとなることができました。



薬膳スパイスチキンカレー



柿狩り

■今後の展開について

コロナ禍にあって、今、庭園の価値が見直されています。屋外では換気の心配がなく、広いオープンスペースを活用すれば、密になることを避けられます。いばらきガーデン&オーチャードツーリズムはコロナ禍にあって、人々の健康の維持増進、そして心身のリフレッシュに繋がるものと期待されます。少しでも多くの方にこのツーリズムを知ってもらい、人々の生活に潤いを与え、新たなライフスタイルを提案していきたいと思えます。

